

世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群公開講座

第3回 「宗像氏と対外交流」

日 時：令和元年 9 月 7 日(土) 13:30-16:30

場 所： カメリアホール 大研修室(福津市複合文化センター・文化会館)

スケジュール:

13:30 開会あいさつ

13:40 講演 1 「古代宗像の渡来人」 亀田 修一

15:00 休憩 (15 分)

15:15 講演 2 「文献史料から見た古代豪族宗像氏の交流」 森 公章

16:30 閉会

2019年9月7日(土)
13:30~15:00
カメリアホール大研修室
世界遺産「神宿る島」
宗像・沖ノ島と関連遺産
群 公開講座

古代宗像の渡来人

亀田修一
(岡山理科大学)

1. はじめに

- ・古代宗像地域を旧宗像、旧津屋崎、旧福岡、旧古賀・新宮地域に分けて検討
- ・各地域の朝鮮系資料を対象
- ・オンドル住居、隅部排水溝付き四柱式方形竪穴住居、平底鉢、有溝把手、縄文土器、鳥足文タタキ土器など日本列島の人々に受け入れられなかった資料、初期カマド住居などを主な対象として渡来人をさがす
- ・渡来人たちの仕事を考える
- ・古墳時代(西暦250年頃~710年)



2. 渡来人をどのようにさがすか

(1) 遺構

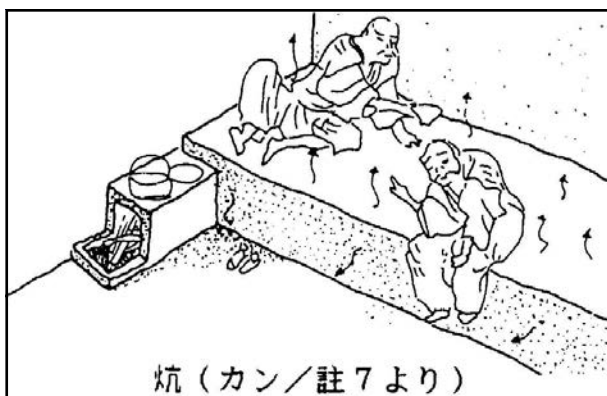
- ・初期カマド住居
 - ・オンドル住居
- 日本には受け入れられなかった

備中窪木薬師遺跡13号住居(5世紀前半)



扶余扶蘇山城のオンドル住居





炕 (カン/註7より)
オンドル住居模式図 (富井1983)



撫順高爾山城内の炕 (111130)



高爾山城內住居の炕 (111130)



撫順高爾山城內住宅の炕焚き口 (111130)

(2) 遺物

・軟質土器・軟質系土器

甑・長胴甕・鍋・平底鉢

→平底鉢は日本には受け入れられなかった

・受け入れられなかったもの

・算盤玉形紡錘車

・甑などの把手の溝

・土師器のタタキ技法

→特に、縄目タタキ・鳥足文タタキ



南郷遺跡群

滋賀県立安土城考古博物館2001



備前服部廃寺下層



備前服部廃寺下層
の軟質系土器甑の
把手 (5世紀)

大和南郷遺跡群
の軟質系土器甑
(大阪府立近つ飛鳥博物館
2004)



a. 軟質土器・軟質系土器:朝鮮半島の甑

・平底多孔甑

平底多孔甑は受け入れられ、孔の数が徐々に減少していく

・平底浅鉢

平底鉢は、日本列島の人々には受け入れられなかった



大阪歴史博物館2017『渡来人いずこより』

・鳥足文タタキ土器

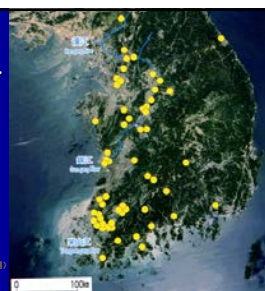
→鳥足文タタキは、日本列島の人々には受け入れられなかった



大阪府部屋北遺跡(6世紀前半)

・有溝把手は受け入れられなかった

→系譜は不明



韓半島の鳥足文タタキ土器の分布(大阪歴史博物館2017『渡来人いずこより』)

下:岡山県赤磐市南方遺跡

b. 土製品

・カマド焼き口杓

→日本列島の人々には受け入れられなかった

→百済・馬韓系資料

大阪府部屋北遺跡など

・円筒形土製品

→日本列島の人々には受け入れられなかった

→百済・馬韓系資料

奈良県南郷遺跡群

(南郷下茶屋カマ田遺跡)



・算盤玉形紡錘車:系譜不明

→日本列島の人々には受け入れられなかった



奈良県南郷遺跡群

(奈良県立橿原考古学研究所2001)



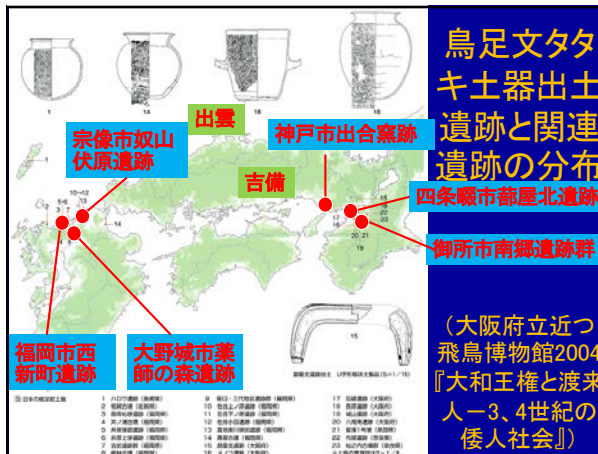
福岡県池の上遺跡群

(福岡県史稿)

・無文当て具:系譜不明

→日本列島の人々には受け入れられなかった

→兵庫県出合窪跡



鳥足文タタキ土器出土遺跡と関連遺跡の分布

(大阪府立近つ飛鳥博物館2004『大和王権と渡来人—3、4世紀の倭人社会』)

(3) 儀礼

- ・算盤玉形紡錘車副葬
- ・初期の土器副葬
- ・煮炊き具副葬
- ・馬土墳

大和南郷遺跡群
(滋賀県立安土城考古博物館2001)

河内部屋北遺跡馬土墳
大阪府立近つ飛鳥博物館2004

河内大泉古墳群(滋賀県立安土城考古博物館2001)

3. 宗像の朝鮮系資料と渡来人

(木下良1999図33を一部改変・関連遺跡を追加、以下同)

(1) 宗像内陸部地域

9: 光岡六助遺跡
2: 富地原川原田遺跡
8: 野坂一丁間遺跡
11: 久原瀧ヶ下遺跡

宗像内陸部地域

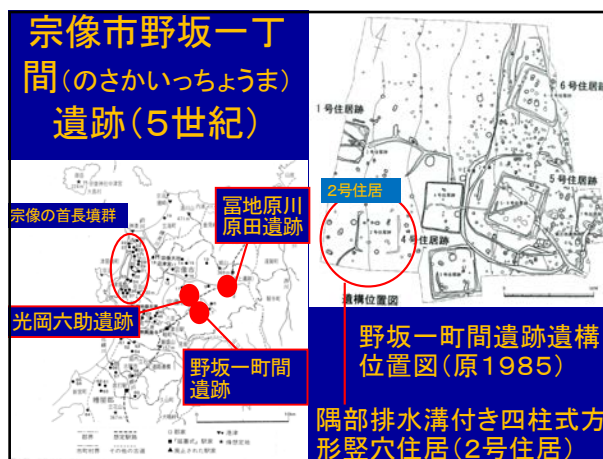
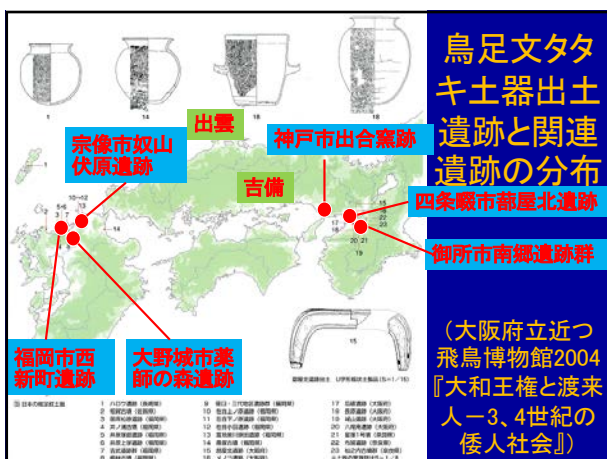
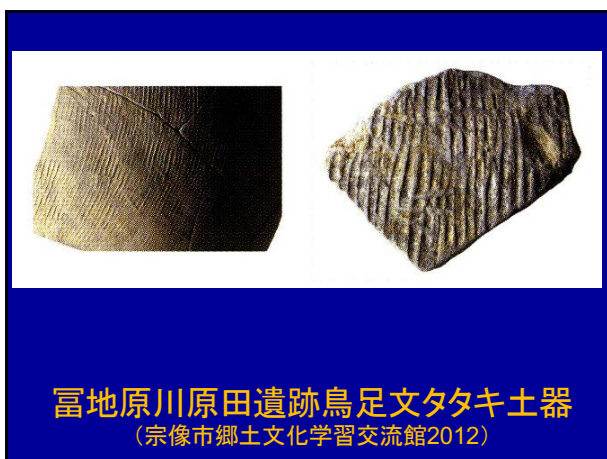
- ・光岡六助遺跡
- ・オンドル住居・陶質土器
- ・富地原川原田遺跡
- ・オンドル住居・初期カマド住居
- ・平底鉢・多孔甑・縄蓆文タタキ土器
- ・鳥足文タタキ土器

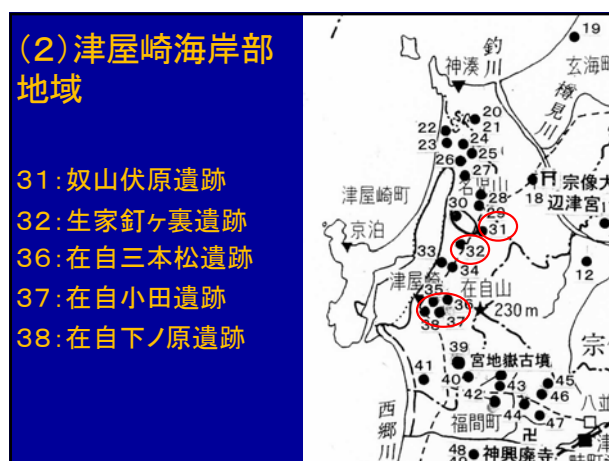
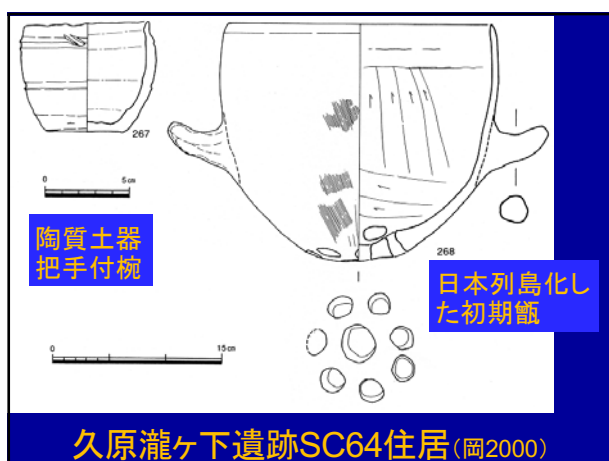
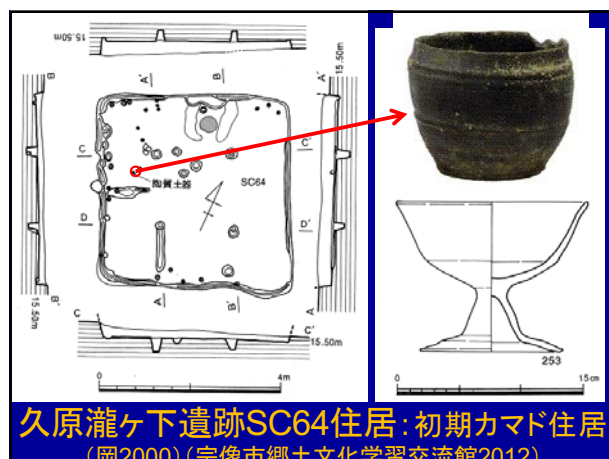
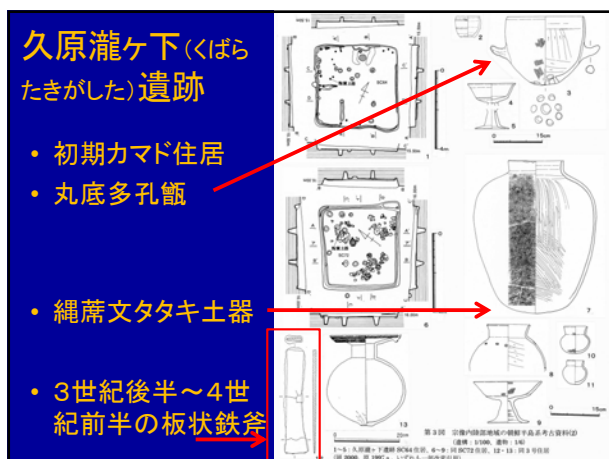
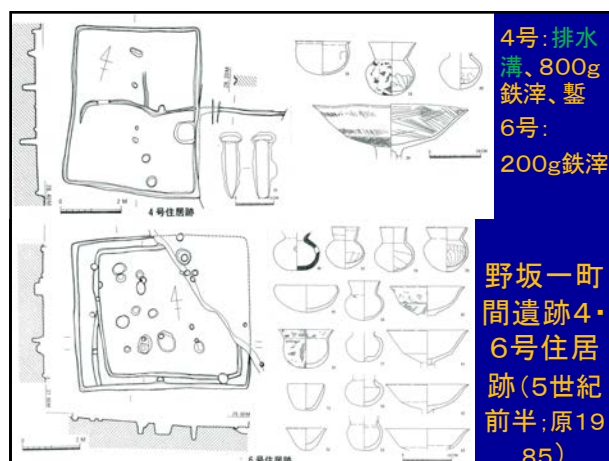
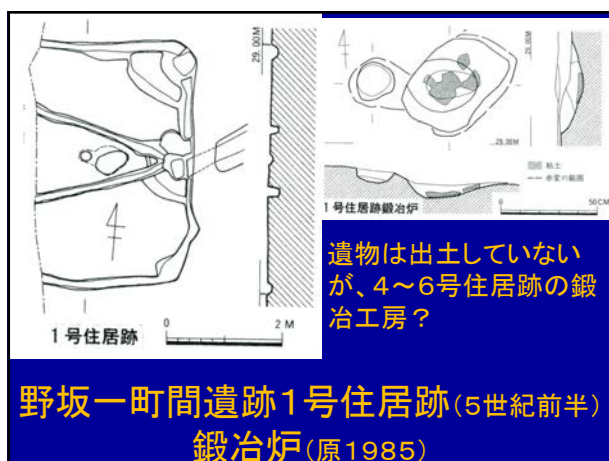
(宗像市郷土文化学習交流館2012)

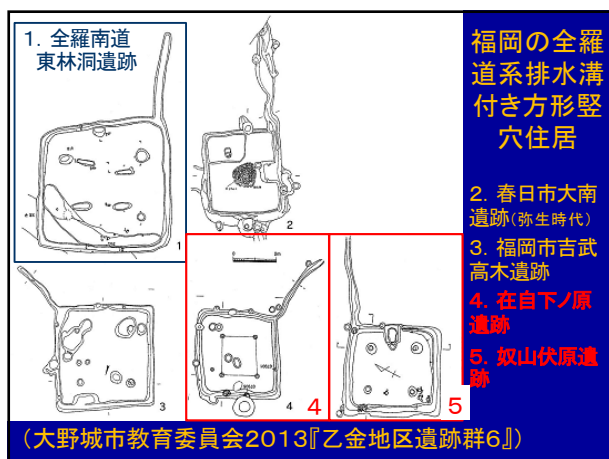
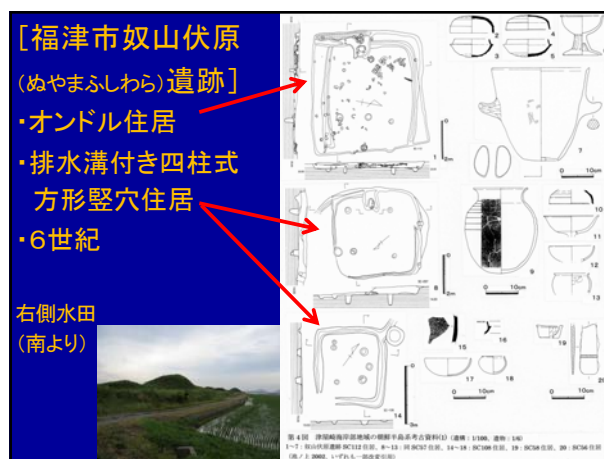
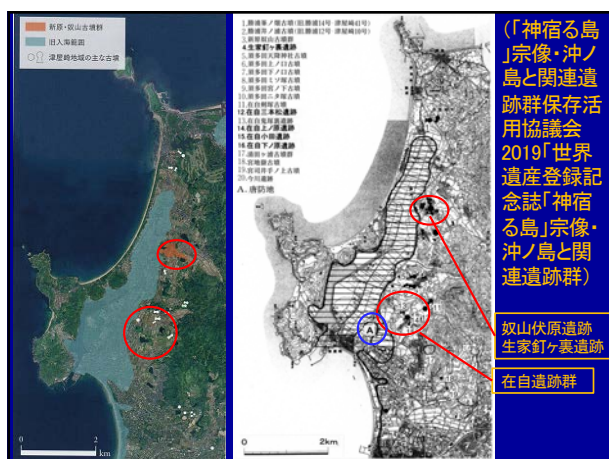
富地原川原田遺跡SB27住居(5世紀前半)

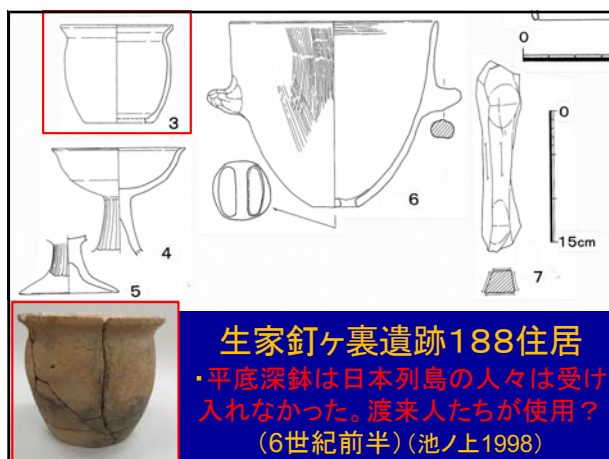
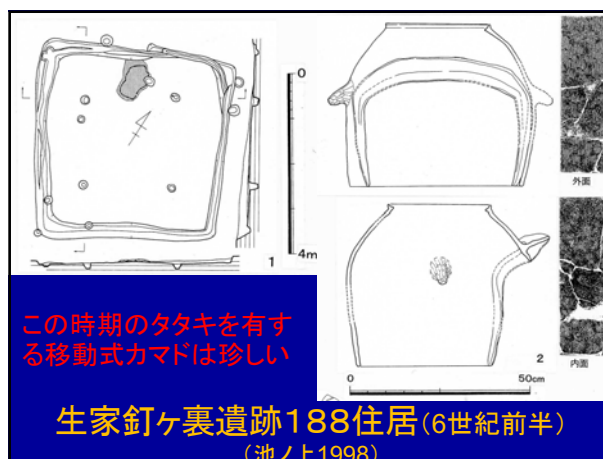
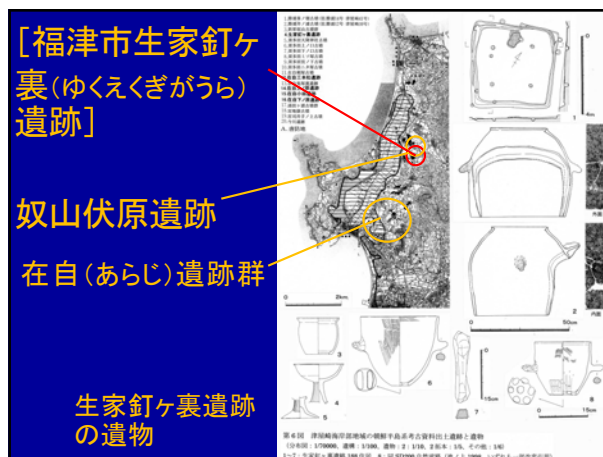
百済文化開発研究院1984『百済土器図録』

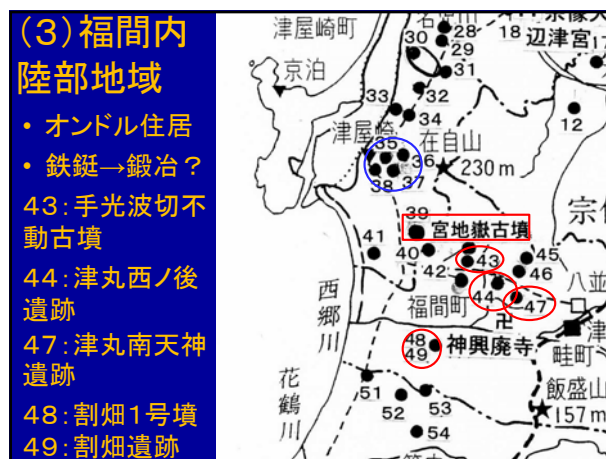
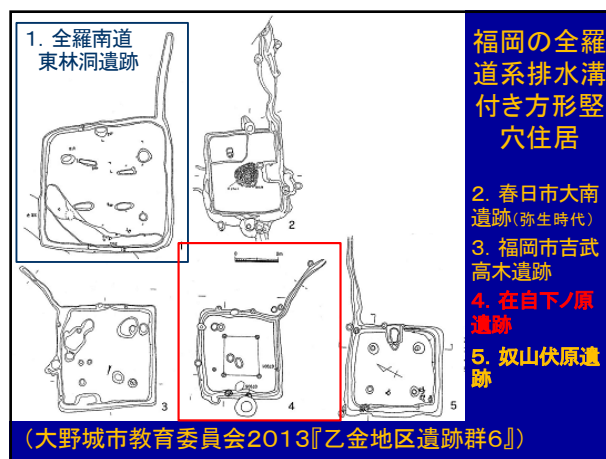
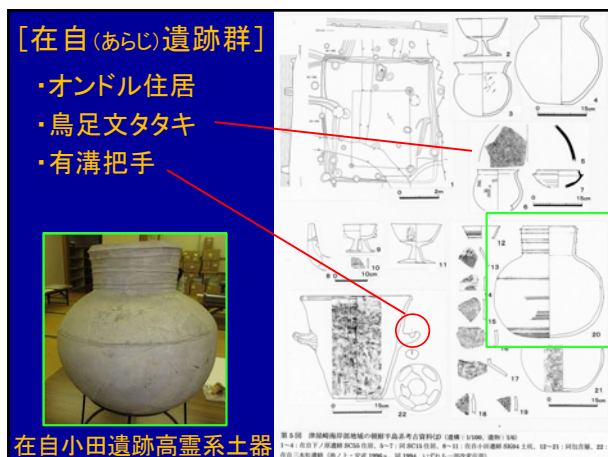
富地原川原田遺跡SB27住居特殊タタキ土器と韓国舒川郡文章里百済土器

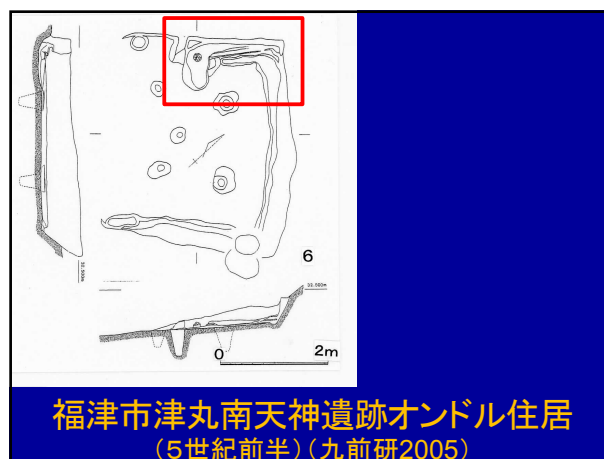
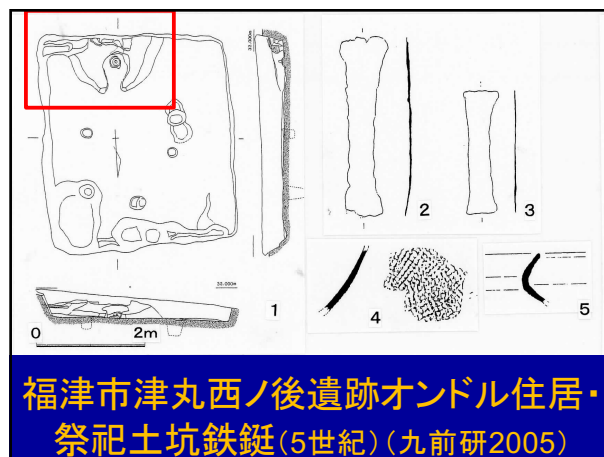
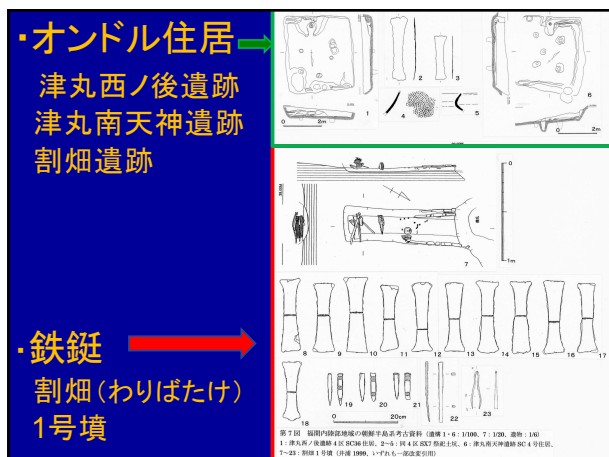


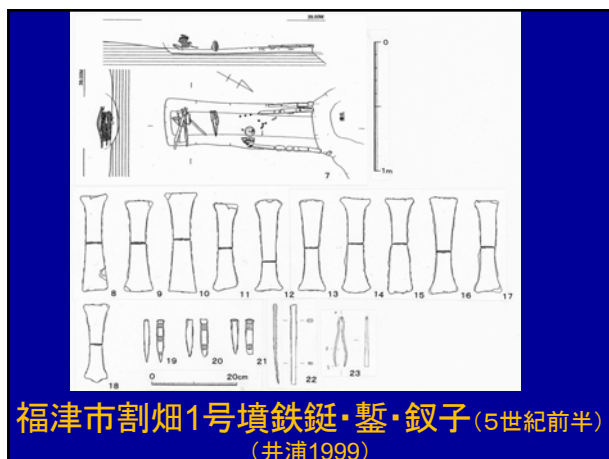












福津市割畑1号墳鉄鋌・鑿・釵子(5世紀前半)
(井浦1999)



割畑1号墳鉄鋌・釵子・鑿(5世紀前半)

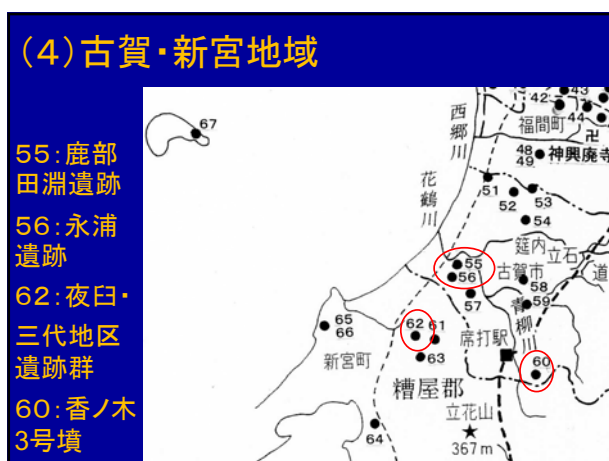


手光波切不動
古墳(130531)

- ・直径約20m、石室長10・8mの切石横穴式石室
- ・7世紀中葉の首長墳
- ・この首長クラスは朝鮮半島系資料をもつ？

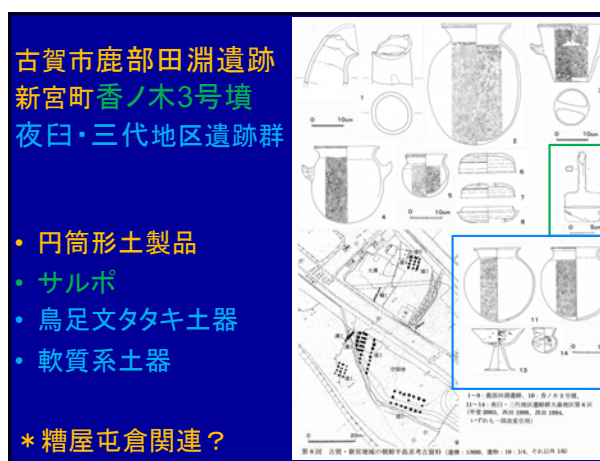


福津市手光波切不動古墳新羅印花
文土器(7世紀?)



(4) 古賀・新宮地域

- 55: 鹿部田淵遺跡
- 56: 永浦遺跡
- 62: 夜臼・三代地区遺跡群
- 60: 香ノ木3号墳



古賀市鹿部田淵遺跡
新宮町香ノ木3号墳
夜臼・三代地区遺跡群

- ・円筒形土製品
- ・サルボ
- ・鳥足文タタキ土器
- ・軟質系土器

* 糟屋屯倉関連？

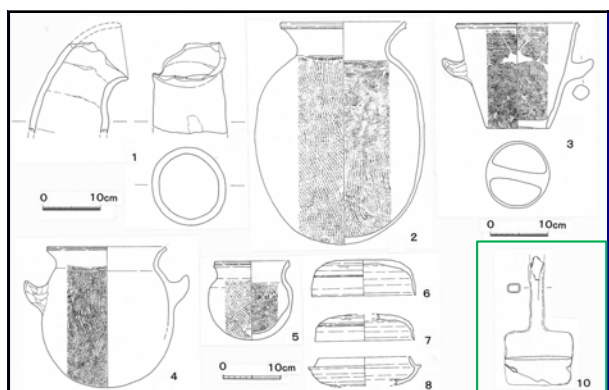


古賀市鹿部田淵遺跡(6世紀後半～7世紀)
(古賀市「みあけ史跡公園」リーフレット)
→糟屋屯倉関連?

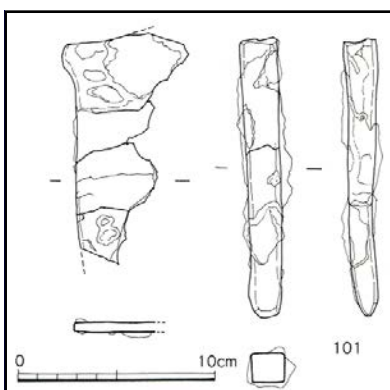


(古賀市「みあけ史跡公園」リーフレット)

古賀市鹿部田淵遺跡の円筒形土製品
と軟質系土器(6世紀後半～7世紀初)

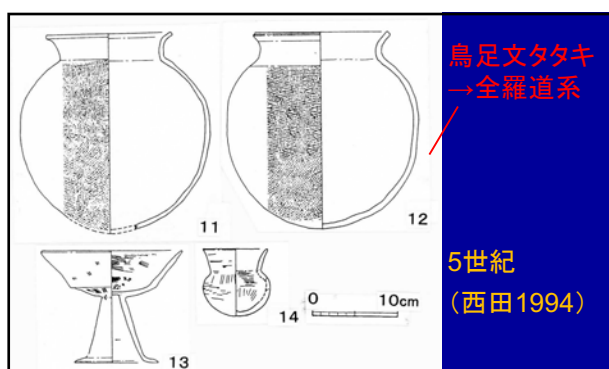


古賀市鹿部田淵遺跡(1～8)・
新宮町香ノ木3号墳(10)(甲斐2003・西田1998)



5世紀前半?

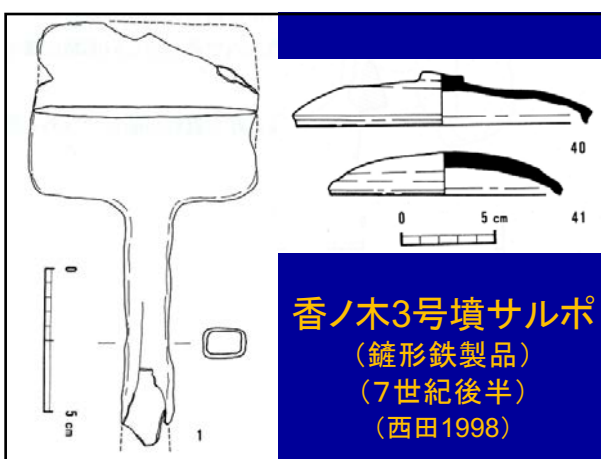
古賀市永浦遺跡鉄鋌・鑿(甲斐2004)



鳥足文タタキ
→全羅道系

5世紀
(西田1994)

新宮町夜臼・三代地区遺跡群大森地区
第6区軟質系土器・鳥足文タタキ土器



香ノ木3号墳サルポ
(鋸形鉄製品)
(7世紀後半)
(西田1998)



朝鮮時代(1668
年)のサルポ
(国立中央博物館2000)

4. 宗像地域の渡来人

(1) 時期

- ・4世紀: 弥生時代以来のつながり、少ないがある
久原瀧ヶ下遺跡板状鉄斧
在自下ノ原遺跡陶質土器など
- ・5世紀急激に増加: 渡来人
オンドル住居・初期カマド住居
平底鉢・多孔甕などの軟質系土器
- ・6世紀: 継続: 渡来人
- ・7世紀: 少ないながら継続:
手光波切不動古墳、相原2号墳など

(2) 系譜

a. 加耶・新羅地域系

大加耶(高霊)系土器・多角形袋部鉄矛
新羅土器・三葉環頭大刀・三累環頭大刀・馬具

b. 百済(全羅道地域を含む)地域系

海岸部の奴山伏原遺跡、在自下ノ原遺跡、内陸部の野坂一町間遺跡などで排水溝付き四柱式方形竪穴住居が見られ、馬韓(全羅道)系土器もみられる。これだけまとまっている地域は珍しい。

鳥足文タタキ土器・平底浅鉢・平底多孔甕
円筒形土製品・三足土器(四足?)・ガラス板
多角形袋部鉄矛(百済・大加耶系)

(3) 仕事

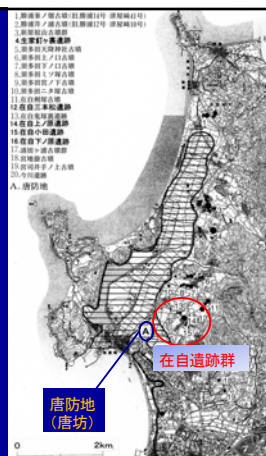
- ・海関係
航海、水先案内、港の管理、船の管理、荷物の管理など
- ・鍛冶: 鍛冶具、初期鍛冶炉、鉄鋌
- ・農耕: U字形鋤鋤先、三叉鋤
- ・須恵器生産: 三足土器
- ・木工: 多様な鋸、鋸の多さ、匏形鉄器、鉋
- ・馬飼育: 馬土壌

[海関係]

- ・航海
- ・水先案内
- ・港の管理
- ・船の管理
- ・荷物の管理

* 在自遺跡群の位置

海・港と陸上交通
原始古代から中世に
続く港町・渡来系の人々

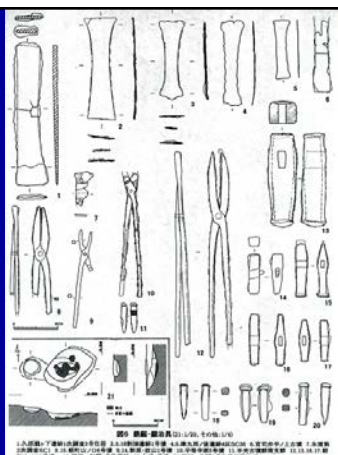
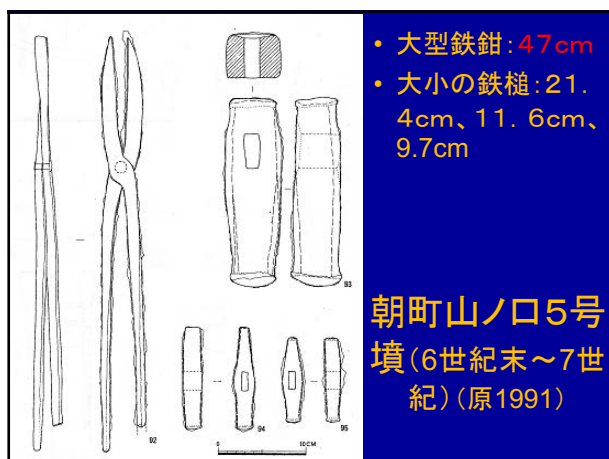


宗像・海・在自 遺跡群・渡来人

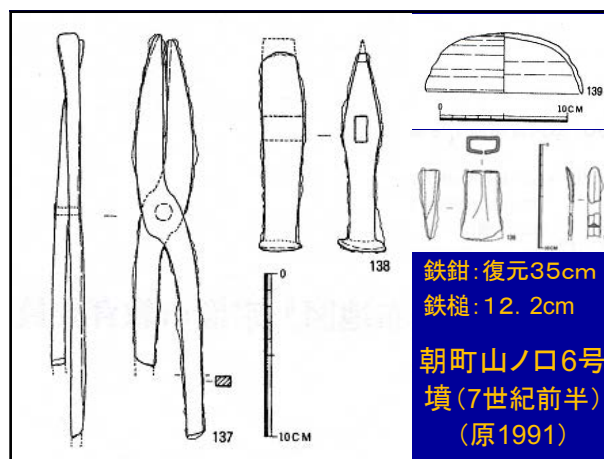
在自遺跡群
→「唐坊地」
→平安・鎌倉時代
にも中国と交易

(「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺跡群保存活用協議会2019「世界遺産登録記念誌「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺跡群」)

[鍛冶]

鍛冶関係資料
(池ノ上2012)久原瀧ヶ下遺跡・朝町山ノ口5・6号墳
(宗像市郷土文化学習交流館2012)

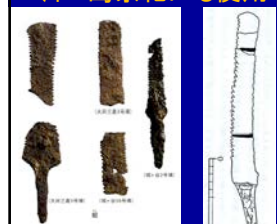
- 大型鉄鉗: 47cm
- 大小の鉄槌: 21.4cm, 11.6cm, 9.7cm

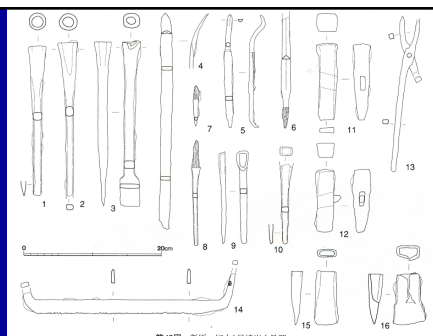
朝町山ノ口5号墳
(6世紀末~7世紀)
(原1991)鉄鉗: 復元35cm
鉄槌: 12.2cm朝町山ノ口6号墳
(7世紀前半)
(原1991)

[農耕]

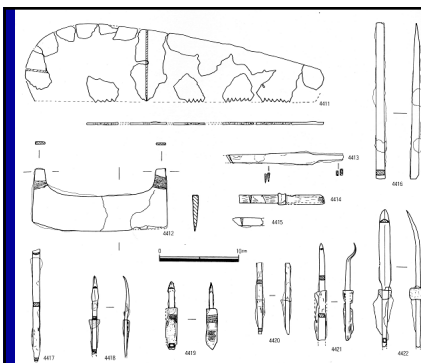
- U字形鋤鍬先
徳重仏祖2号墳、在自小田遺跡、宮司井手ノ上古墳、川原庵山8号墳など5世紀中葉以前の例
- 三叉鍬
伝・花見古墳: 全国でも5、6例?

- * 新たな可耕地の開発
- * 水利など

[木工: 宗像地域の鋸の
多さ]
・農具・工具・箱物・細工
物など木工製品、船?
→沖ノ島祭祀にも使用?宗像市郷
土文化学
習交流館
2012)羅州新村里9号墳
鋸(伊藤実1993)



新原・奴山1号墳鍛冶具・鋸・鉋・鑿(橋口1989)
首長墳の副葬品:首長の力、交流状況、配下の仕事
[新原・奴山1号墳:墳長50m、前方後円墳:5世紀中葉]



(池ノ上2001)

新原・奴山44号墳鑿・鋸・鉋形鉄器・鉋



大井三倉古墳群
城ヶ谷古墳群

鋸がこれだけまとまる地域は全国的にも珍しい

羅州新村里9号墳
鋸(伊藤実1993)

鋸(宗像市郷土文化学習交流館2012)

[須恵器生産]?



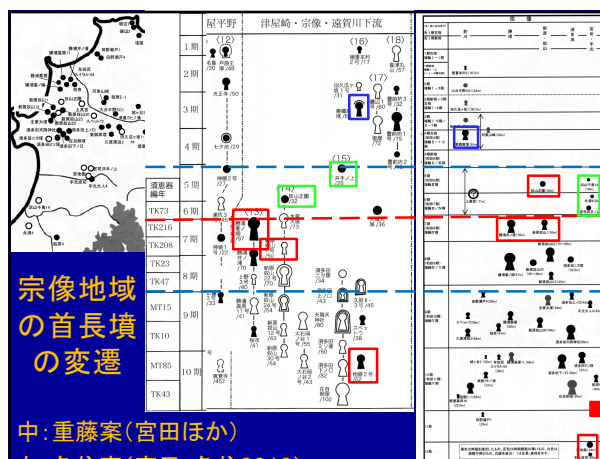
忠清南道表井里古墳群(百濟文化開発研究院1984)

稲元黒巡SH1号窯跡三(四)足土器

[馬飼育?]

- 古賀市楠浦・中里古墳群馬具出土土坑
→馬埋納土坑?→馬飼育?
- 鹿部田淵遺跡(糟屋屯倉関連遺跡?)に近い

これらの推測が認められるならば、大和王権→糟屋屯倉→国家による馬飼育の渡来人たちが関与?、対朝鮮半島にも馬を使用?



中:重藤案(宮田ほか)

右:佐々木案(宮田ほか2010)

5. おわりに

- ・ 宗像地域は北部九州という地理的な位置を考慮しても、朝鮮半島系の考古資料が多い
- ・ 福岡平野地域と比較しても多い。独自の交流？
- ・ 5、6世紀にはそれなりの数の渡来人たちが地元の大小の首長たちとの関わりの中でいろいろな仕事をしていた
→海関係、鉄器生産、農耕、須恵器生産、木工など
- ・ そして、大和王権との関わりを含めて、馬飼育も？

【おもな参考文献】

- 池ノ上宏2012「筑前東部の諸勢力と対外交渉」『沖ノ島祭祀と九州諸勢力の対外交渉』第15回九州前方後円墳研究会北九州大会実行委員会
- 大阪府立近つ飛鳥博物館2004『今来才伎—古墳・飛鳥の渡来人—』
- 大阪府立弥生文化博物館2004『大和王権と渡来人—3・4世紀の倭人社会—』
- 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺跡群保存活用協議会2019「世界遺産登録記念誌「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺跡群
- 亀田修一1993「考古学から見た渡来人」『古文化談叢』30中
- 亀田修一2003「渡来人の考古学」『七隈史学』4
- 『福岡大学考古学論集—小田富士雄先生退職記念—』

- 亀田修一2008「牛頸窠跡群と渡来人」『九州と東アジアの考古学』九州大学考古学研究室
- 木下良1999「古代 第3章律令制下における宗像郡と交通」『宗像市史 通史編 第2巻』宗像市
- 百済文化開発研究院1984『百済土器図録』
- 国立中央博物館2000『特別展民族とともにある米—稲作文化3000年—』
- (財)三江文化財研究院2009『金海官洞三国時代津址』
- (財)滋賀県文化財保護協会1996『いにしへの渡りびと 近江の渡来文化』
- 滋賀県立安土城考古博物館2001『韓国より渡り来て』
- 重藤輝行2011「宗像地域における古墳時代首長の対外交渉と沖ノ島祭祀」『「宗像・沖ノ島と関連遺産群」研究報告 I』「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

- 第8回九州前方後円墳研究会実行委員会2005『第8回九州前方後円墳研究会資料集—九州における渡来人の受容と展開—』
- 第37回九州古墳時代研究会実行委員会2011『宗像地域の古墳』九州古墳時代研究会
- 第15回九州前方後円墳研究会北九州大会実行委員会2012『沖ノ島祭祀と九州諸勢力の対外交渉』
- 富井正憲1983「韓国の温突」『韓国文化』1983—1、自由社
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館2006『葛城氏の実像』
- 花田勝彦1999「沖ノ島祭祀と在地首長の動向」『古代学研究』148、古代学研究会
- 花田勝彦2012「宗像地域の古墳群と沖ノ島祭祀の変遷」『沖ノ島祭祀と九州諸勢力の対外交渉』第15回九州前方後円墳研究会北九州大会実行委員会
- 原俊一1997a「第4章 古墳時代 第3節 宗像の古墳時代」『宗像市中 通中経』1、宗像市

- 原俊一1997b「第5章 特色ある古墳文化 第1節 出土遺物からみた宗像の特色」『宗像市史 通史編』1、宗像市
- 正木喜三郎1999「中世 第1章 鎌倉時代の宗像 第4節 宗像大宮司と海」『宗像市史通史編第2巻 古代・中世・近世』宗像市
- 宮田浩之・重藤輝行ほか2007「地域編年考察—北九州—」『第10回九州前方後円墳研究会宮崎大会発表要旨・資料集 九州島における中期古墳の再検討』
- 宮元香織・久住猛雄2010「筑前地方における首長墓系列の再検討」『第13回九州前方後円墳研究会鹿児島大会発表要旨集 九州における首長墓系列の再検討』
- 宗像市郷土文化学習交流館2012『海の道むなかた展示図録』宗像市
- 桃崎祐輔2010「九州の屯倉研究入門」『還暦、還暦？、還暦！—武末純一先生還暦記念献呈論文集・研究集』

付録：弥生時代・古墳時代・三国時代の港



古代吉備の海(総社市)

岡山県倉敷市上東遺跡の港
(A. D. 1世紀)



岡山県倉敷市上東遺跡の港
(A. D. 1世紀)



岡山県倉敷市上東遺跡波止場状遺構杭列

岡山県倉敷市上東遺跡波止場堤防敷粗
朶工法・杭群(A. D. 1世紀)
杭:堤防補強材、舳(もや)い杭?



岡山県倉敷市上東遺跡
波止場堤防敷粗朶(そだ)技法



